

# HPDU Competition 2021

Co-sponsored by HPDU & ESUJ

共同主催： 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)  
一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)  
後援： 文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)  
ブリティッシュ・カウンシル (British Council) カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)  
特別協賛： 有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)  
協賛： 公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)  
iaeグローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)  
株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)  
キャノン株式会社 (CANON INC.)  
キャノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)

## 第10回 日本高校生 パラメンタリーディベート 連盟杯 全国大会

協力： 株式会社アルク (ALC PRESS INC.) / イーエムティー株式会社 (Energy Management Technologies KK)  
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc.) / 株式会社EduLab (EduLab, Inc.)  
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)  
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)  
油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc.) / 一般社団法人全国高校英語ディベート連盟 (HENDA)

[予選] 2021年 3月21日(日)

[決勝トーナメント] 3月22日(月)

新型コロナウイルス対策のため、自宅から参加  
できるオンラインで開催することに致しました。

## CONTENTS:

関係団体.....	1
ご挨拶.....	2
大会役員名簿.....	4
大会概要.....	6
出場校.....	8
大会日程.....	10
試合形式.....	12
大会ルール.....	14
過去の大会の結果.....	16
第 11 回 HPDU 連盟杯(2022 年 3 月開催)の登録方法.....	18
第 10 回 HPDU 新緑杯・第 2 回新芽杯 実施要項.....	22
HPDU 西日本オープン 2022 開催のお知らせ.....	24
第 4 回 HPDU 中学生大会 実施要項.....	25
模擬 G20 Summit 2021 開催について.....	26
大会要項.....	27

### 共同主催・協賛・協力団体掲載ページ

一般社団法人 日本英語交流連盟.....	5
公益財団法人 日本英語検定協会.....	9,13
iae グローバルジャパン株式会社.....	11
有限責任 あずさ監査法人.....	(裏表紙)

## ◆ 関係団体 - Organizers & Supporting Organizations -

共同主催：一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)  
一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)

後援：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)  
ブリティッシュ・カウンシル (British Council)  
カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)  
iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)  
株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)  
キヤノン株式会社 (CANON INC.)  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)  
ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：株式会社アルク (ALC PRESS INC.)  
イーエムティー株式会社 (Energy Management Technologies KK)  
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc.)  
株式会社E d u L a b (EduLab, Inc.)  
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)  
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)  
油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc.)  
一般社団法人全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)





[Message from] **Ryuji KITAHARA**  
Chief Director of High School Parliamentary Debate Union of Japan  
一般社団法人日本高校生パラメンタリーディベート連盟 理事長 北原隆志

Welcome to HPDU Competition 2021, the most prestigious national parliamentary debate championship for high school students.

This is a special year, as it is the 10th anniversary of our competition. HPDU has been supported by a lot of people across these ten years. All of them expect you, the young generation, to be active on the world stage and help build a brighter future, for parliamentary debate is an effective way to improve your 21st skills. In fact, many of the people who were deeply engaged in it during high school are serving internationally or playing an important role in solving global issues.

If you want to achieve something significant in this global society, you must collaborate with others. For that, the first thing you need to do is make them understand your ideas. The most important skill you can gain through parliamentary debate is this! Why should you speak slowly, be logical and put sign posts in your speech? The answer is this: the best debate is one that anyone can comprehend.

When the judge says, "Your speech was easy to understand!", you have succeeded. I hope you get as many "easy to understand"s as possible in this competition. Good luck!



[Message from] **Sadaaki NUMATA**  
Chairman, The English-Speaking Union of Japan (ESUJ)  
一般社団法人 日本英語交流連盟 会長 沼田貞昭

On behalf of the English-Speaking Union of Japan (ESUJ), I would like to extend my heartfelt congratulations on the 10th anniversary of the HPDU Competition. Ever since its inauguration, we have taken pleasure in working together with HPDU to help foster future global communicators through this competition, and co-sponsoring it since 2019. The Covid-19 pandemic posed a serious challenge to us last year, but I was deeply impressed to see the competition conducted entirely online thanks to the dedicated passion and technological prowess of the HPDU officers, judges, volunteers and debaters who participated from all over Japan. The challenge continues this year, but I am confident that you will build on the success of the epoch-making experiment last year.

On the part of ESUJ, we will be happy to continue to hold workshops and seminars, including those online, for high school teachers and students in various parts of Japan, as the mainstreaming of debate and discussion in the high school English curriculum is expected to start in 2022.



[Message from] **Naoji YUI**

Former President, Eiken Foundation of Japan

公益財団法人 日本英語検定協会 元会長 油井 直次

In 2016 the voting age was lowered from 20 to 18 marking a historic change in Japan's electoral system. Your responsibilities have increased and your voices count more than ever in shaping Japan's future. Debating skills will play an important role in helping you to analyze and decide which candidate or party you wish to support by carefully judging their arguments. You will need to think critically. Debating various kinds of motions will help you develop such skills.

The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology is including debating in Japanese high school English courses to nurture young people who are capable of actively communicating on the global stage. Studying a wide range of topics is essential and debating about them will undoubtedly enhance your English communication skills. We hope that the experiences you acquire through these debates will broaden your perspectives and enable you to be active members of the global community.

## 全国大会優勝校持ち回りの優勝カップ 「HPDU杯」について

2018年、都道府県大会が本格的に開催されたことを記念して、有限責任あずさ監査法人様が持ち回りの優勝カップを寄贈してくださいました。高校生によるパラメンタリーディベート国内大会の最高峰に立ったチームに授与されるにふさわしい素晴らしいカップです。

そこに皆さんの学校名が入ったペナントをしっかりと結ぶことを目指して、最高のパフォーマンスをして下さい。



# ◆ 大会委員名簿 - Organizing Committee -

※ HPDU の大会は全てボランティアにより運営されています。

大会運営委員会 (HPDU 役員)	理事長	北原 隆志	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭
	事務局長	古賀 記洋子	日本大学第一中学校・高等学校 教諭
	理事	小林 良裕	豊島岡女子学園中学高等学校 教諭
		前田 和	埼玉県立久喜北陽高等学校 教諭
		浜野 清澄	さいたま市立浦和高等学校 教諭
		西崎 真広	翔凛中学校・高等学校 教諭
		天海 揚介	[OBOG 代表] 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 卒業生
		須田 智之	筑波大学附属駒場中・高等学校 教諭
		大関 朝美	富士見中学高等学校 教諭
		河野 周	聖光学院中学・高等学校 教諭
	運営委員	吉野 舞起子	一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 事務局長
		倉田 芽衣	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 卒業生
顧問	監事	油井 直次	油井アソシエイツ株式会社 代表取締役
			元公益財団法人 日本英語検定協会 会長
	名誉顧問	明石 康	公益財団法人 国立京都国際会館 理事長
			一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 副会長
	名誉顧問	沼田 貞昭	元国連事務次長
			一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 会長
	顧問	加藤 一郎	元駐カナダ大使
			千葉大学客員教授, 元全農代表理事専務
	顧問	新庄 一郎	弁護士, 元検察庁検事正
	顧問	酒井 弘行	公認会計士, 元KPMGジャパン日本代表, 元あずさ監査法人理事長
	顧問	下野 雅承	元日本IBM 社長
	顧問	讃井 暢子	元一般社団法人 日本経済団体連合会常務理事
	大会主顧問	岡田 真樹子	一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 常務理事
			元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授
	大会特別顧問	綾部 功	東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 教授
	大会特別顧問	中川 智皓	大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授
	HPDU 西日本代表	西山 哲郎	香里ヌヴェール学院小学校 学校長
	チーフコーチ	小野 暢思	国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 32 回、ベストスピーカー賞 28 回、2015 年パラメンタリーディベート世界大会 (World Universities Debating Championship) ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker]





## **第 10 回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2021**

**Co-sponsored by HPDU of Japan and ESUJ**

The English-Speaking Union of Japan (ESUJ, 一般社団法人 日本英語交流連盟) は 2019 年から HPDU 杯を共同主催しています。

ESUJ は日本の人たちが国際コミュニケーションの「道具」としての英語に慣れ親しむようになることを目的として 1998 年 10 月に創立された非営利団体です。英国を中心とする世界的ネットワークである English-Speaking Union (ESU) の一員として、English in Action 講座（初心者から上級者向きまで。会話、スピーチ、ディスカッション）、ディベート練習会とセミナー、講演会、懇親会やアウティング、そして日本からの意見発信などの活動を行っています。創立以来の主要活動であるパラメンタリーディベートの普及については、20 年間開催した ESUJ 大学対抗大会と社会人大会を通じてその輪が定着してきました。この経験を踏まえて、HPDU of Japan と共に高校生の大会を実施して参ります。

### **HPDU 杯 優勝者教育奨励賞 ESUJ Award**

HPDU 杯優勝者には英国で開かれる ESU Debate Academy 参加のための教育奨励賞が授与されます。ESU Debate Academy は毎年 8 月に英国で行われる 5 泊 6 日の高校生対象のサマースクールです。国際的なディベート大会で活躍した経験豊富なディベートメンターから直接ディベートの指導を受けます。＊

### **2021 年度 ESUJ Award**

コロナ禍での英国 ESU Debate Academy 開催が困難なことに鑑み、＜ESUJ Award＞として HPDU 杯優勝チームのディベーター 1 名につき 教育奨励金として 10 万円、総額 30 万円を贈呈します。例年、HPDU 杯優勝者には英国で開催される ESU Debate Academy への教育奨励賞 ＜ESUJ Award＞を授与していますが、2021 年度は教育奨励金の贈呈に変更しました。

ESU (English-Speaking Union) は 1918 年に英国で発足し 100 周年を迎えました。現在では世界約 55 カ国で、各国の事情やニーズに合わせてディベート、スピーチ大会、ドラマコンテスト、最近の国際情勢に関する講演会等、会員の交流と英語コミュニケーションのための多彩なプログラムを実施しています。英国女王エリザベス II 世をパトロンとする英国王室認可の教育チャリティー団体です。パブリックスピーキングとパラメンタリーディベートの指導において最も長い歴史と権威のある団体です。

( <https://www.esu.org> )

＊2021 年 8 月に予定されていた Debate Academy は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となりました。



## 第 10 回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2021 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ)

\*新型コロナウイルス対策のため、例年の大会スケジュールを大幅に変更し、自宅から参加できるオンラインで開催することにいたしました。

### □ 趣旨

全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

### □ 日時・場所

1) 都道府県大会 2021 年 1 月～2 月中 ※場所は各地域で決定し実施する。

2) 全国大会予選 (44 チーム) 及び決勝トーナメント(予選上位 8 チーム)

期間：[予選] 2021 年 3 月 21 日 (日) 9:20～17:45 頃

[決勝トーナメント] 3 月 22 日 (月) 9:30～15:30 頃

### □ 内容

World School's Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による即興型英語ディベート大会。1 チーム 3 名、予選 4 試合 (2～4 試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位 8 チームを決め、決勝トーナメント

### □ 参加資格

日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者 (同一都道府県内の出場希望校が 1 校のみであった場合など)。

### □ 参加費

1 チームにつき 3,000 円

### □ 各種教育奨励賞

#### 1) ESUJ 賞：

ESUJ 賞：コロナ禍での英国 ESU Debate Academy 開催困難なことに鑑み、優勝チームのディベーター 1 名につき教育奨励金として 10 万円贈呈。総額 30 万円。

#### 2) あずさ監査法人賞：

参加者全員に HPDU 特製パラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。

#### 3) 日本英語検定協会賞：

予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈



- 4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：  
上位4チームに音楽CDを贈呈
- 5) キヤノン賞：  
優勝チームにデジタルカメラを贈呈
- 7) キヤノンマーケティングジャパン賞：  
準優勝チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈
- 8) アルク賞：  
予選大会ベスト16以上のチームに書籍を贈呈。
- 9) ディベート教育奨励賞：  
準優勝チームの選手にディベート関連の書籍を贈呈（加藤彰[著]『即興型ディベートの教科書』）

□ オンライン利用の大会実施に関する注意事項

- ・スマートフォンを各自一台用意してください。大会ではZoomとLINEを使用します。
- ・今大会はオンライン実施のため、スケジュール上遅延が起こる可能性があります。
- ・ネット回線のある環境が用意できることが出場条件になります。
- ・大会要項内(本冊子の巻末にも掲載されています)の「9. 注意事項」で明記された禁止事項に従い、不正は絶対に行わないようお願い致します。万が一不正が発覚した場合は、その選手が所属している学校はHPDUが開催する大会に1年間参加できなくなります。
- ・準備時間中にチーム内で相談をすることは可能ですが、対面での試合と同様に、スピーチ中の仲間にチャット等を通してアドバイスをしたり文面を送ったりすることは禁止です。万が一、不正が発覚した場合は、その試合は失格となります。

【試合中のZoomでの回線トラブルに関するルール】

- ◇ 各試合において、各チームは、合計10分間以上、回線トラブルのために試合を中断させた場合、失格となる。
- ◇ 回線が落ちたスピーカーが5分経って戻って来ない場合は他の人が代わりにスピーチを行うこと。そのスピーチについての個人スコアは無効となる。
- ◇ Zoomでの回線が落ちた場合に各人が行うべきこと：

[ケース①] 自分の回線が落ちた場合

まずストップウォッチを止め、事前に配布するトラブル・シューティングに従い、復旧に努める。

[ケース②] スピーチ中のチームメイトの回線が落ちた場合

その選手が5分経っても戻ってこなかった場合は、代わりのスピーカーがスピーチの続きを行う。

[ケース③] 相手チームのスピーチ中に、それに反論する次のスピーカーの回線が落ちて5分経っても戻ってこない場合

その選手のスピーチは、代わりの選手が行う。

[ケース④] ジャッジの回線が落ちた場合

スピーチ中であれば、ストップウォッチを止め、ジャッジが戻ってくるまで待つ。復帰後、ストップウォッチの時間を確認して再開してもらう。

- ・オンラインでの試合を安定して実施するために、外部からの試合観戦については原則遠慮して頂いております。試合会場に入れるのは、試合をする選手、ジャッジ、試合をする学校の方1名（顧問やコーチなど）、本大会の運営(HPDU関係者)のみとなります。

# ◆ 出場校 - Participating Schools -

岩手県	岩手県立一関第一高等学校
福井県	福井県立藤島高等学校
富山県	富山国際大学付属高等学校
茨城県	茨城県立日立第一高等学校
茨城県	茨城県立水戸第一高等学校
栃木県	栃木県立佐野高等学校
栃木県	栃木県立宇都宮高等学校
栃木県	栃木県立宇都宮女子高等学校
埼玉県	さいたま市立浦和高等学校
埼玉県	埼玉県立大宮高等学校
千葉県	翔凩高等学校
千葉県	千葉市立稲毛高等学校
千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校
東京都	東京都立小石川中等教育学校
東京都	東京都立国際高等学校
東京都	白百合学園高等学校
東京都	広尾学園高等学校
東京都	女子学院高等学校
東京都	千代田区立九段中等教育学校
東京都	渋谷教育学園渋谷中学高等学校
東京都	山崎学園 富士見高等学校
東京都	筑波大学附属駒場高等学校
神奈川県	聖光学院高等学校
神奈川県	浅野高等学校
神奈川県	湘南白百合学園高等学校
神奈川県	神奈川県立多摩高等学校
神奈川県	栄光学園高等学校
神奈川県	神奈川県立柏陽高等学校
神奈川県	洗足学園中学高等学校
静岡県	静岡県立三島北高等学校
静岡県	静岡県立浜松西高等学校
静岡県	藤枝明誠中学校高等学校
静岡県	静岡県立浜松北高等学校
長野県	長野県立上田高等学校
愛知県	愛知県立千種高等学校
愛知県	東海高等学校
大阪府	関西学院千里国際中等部・高等部
大阪府	関西創価高等学校
兵庫県	神戸大学附属中等教育学校
徳島県	徳島県立城ノ内高等学校
香川県	香川県立高松高等学校
鹿児島県	鹿児島県立大島高等学校
鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校
鹿児島県	ラ・サール高等学校



「大学教育レベルにふさわしい英語力」を4技能で測定

# TEAP

Test of English for Academic Purposes

Reading

Writing

Listening

Speaking

高校  
1年生以上  
対象※

複数回  
受験できる

受験の  
チャンスは  
年3回  
(7月、9月、11月)

大学入試に  
TEAPスコアが  
利用可能

※スコアの有効期限：スコア取得後2年度の間有効（取得年度および、翌年度の大学入試に利用できます。）

## 2021年度 試験日程・申込期間

第1回

試験日

7月18日(日)

申込期間

5月17日～6月16日※

第2回

試験日

9月12日(日)

申込期間

7月12日～8月10日※

第3回

試験日

11月21日(日)

申込期間

9月13日～10月13日※

※コンビニ・郵便局ATM支払いによる申し込みは、申込締切日より約1週間前に締め切ります。ご注意ください。  
※受験上の配慮申請必着日は、申込締切日より約3週間早く設けています。ご注意ください。

## TEAP CBT

Test of English for Academic Purposes Computer-Based Test

※TEAPとTEAP CBTは異なるテストです。

ICTを活用し、  
大学で必要とされる実践的な英語力を測る

学習・研究で求められる Writing・Speaking スキルを  
複合的に測定

年3回の試験実施

詳しくはTEAP CBTウェブサイトへ！ <https://www.eiken.or.jp/cs/teapcbt/ad/2021/hpdu.html>



TEAP・TEAP CBTに関するお問い合わせ 英検サービスセンター TEAP運営事務局 TEL:03-3266-6556 9:30～17:00(土・日・祝日除く)



詳しくはTEAPウェブサイトへ

TEAP

検索

<https://www.eiken.or.jp/cs/teap/ad/2021/hpdu.html>

英検

公益財団法人  
日本英語検定協会

## ◆ 大会日程 - Tournament Schedule -

### ■ 3月21日(日) 第1日目 予選

8:50	点呼
9:20	○ 第1試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
9:45	第1試合 (試合時間 約50分)
10:35	試合後ジャッジによる勝敗の説明
11:25	○ 第2試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
11:55	第2試合 (試合時間 約50分)
12:45	試合後ジャッジによる勝敗の説明
13:15	休憩(昼食)
13:50	○ 第3試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
14:15	第3試合 (試合時間 約50分)
15:05	試合後ジャッジによる勝敗の説明
15:55	○ 第4試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
16:25	第4試合 (試合時間 約50分)
17:15	ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス
17:35	解散 (結果発表はSNSで行います)

### ■ 3月22日(月) 第2日目 決勝トーナメント

9:00	点呼
9:30	○ 準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間25分)
10:00	準々決勝 (試合時間 約50分)
11:15	○ 準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間25分)
11:40	準決勝 (試合時間 約50分)
12:30	休憩 (昼食)
13:00	○ 決勝 対戦表・論題発表 (準備時間25分)
13:30	決勝 試合開始 (試合時間 約 60 分)
15:00	結果発表

\*決勝トーナメントの試合は全て、準備時間が25分になります。



# グローバル市場で輝く人材になる ～海外進学を通して身に着く能力～

「英語を流暢に話せる人＝グローバル人材」と思われがちですが、決してそうではありません。海外がより身近になった今、一歩外に出れば、英語だけではなく第二、第三ヶ国語を流暢に使い分ける人材を目にすることも多くなりました。では、グローバル人材とはどんな人材なのでしょう。これについて明確な定義はありませんが、グローバル社会で活躍している方々の話を総合すると、下記のソフトスキルがこれからの時代に求められているスキルだと考えられます。

## グローバル社会が求めるソフトスキル



このようなスキルを習得するにはどうしたらいいのでしょうか。一つの選択肢として挙げられるのが海外留学です。海外留学と聞くと、多くの人は語学力を高めるための手段と考えがちですが、海外進学を通して培われる能力は非常に幅広く、ハードスキルからソフトスキルまで多様です。海外へ進学することで、ここに挙げたような日本ではあまり経験できない教育を受け、技術を高めることができる他、生活面では、その土地の文化に触れることで、異文化・多文化理解を深め、自分のアイデンティティを確立することができます。

### 世界中が進学の選択肢です

私共 iae 留学ネットは、世界各国に 700 を超える教育機関、1500 を超えるキャンパスとの提携を持っています。毎年 22,000 人以上の留学生をサポートし、アジア最優秀エージェンツ賞を 4 度受賞いたしました。25 年以上に亘り培ってきたノウハウで、数ある選択肢の中からあなたの可能性を最大限に引き出せる留学プランをご提案致します。

## iae留学ネットにおまかせください！

iae留学ネットでは語学学校から海外トップスクールへの進学まで、あらゆる留学を無料でサポートしています。

### 昨年の留学サポート実績

世界各国 700 校以上の教育機関と提携、毎年 22,000 人の留学サポート



カリフォルニア大学  
アーバイン校 (アメリカ)  
University of California,  
Irvine (US)

UCLA

カリフォルニア大学  
ロサンゼルス校 (アメリカ)  
University of California,  
Los Angeles (US)



ミシガン大学  
(アメリカ)  
University of Michigan  
(US)

US  
University of Sussex

サセックス大学  
(イギリス)  
University of Sussex  
(UK)

EXETER  
University of Exeter

エクセター大学  
(イギリス)  
University of Exeter  
(UK)



ブリティッシュ  
コロンビア大学 (カナダ)  
University of  
British Columbia (Canada)



オーストラリア国立大学  
(オーストラリア)  
Australian National  
University (Australia)  
CRICOS00120C



シドニー大学  
(オーストラリア)  
University of Sydney  
(Australia)  
CRICOS0026A



クイーンズランド大学  
(オーストラリア)  
University of Queensland  
(Australia)  
CRICOS0025B



オークランド大学  
(ニュージーランド)  
University of Auckland  
(New Zealand)

### 世界中の大学情報があります

記載されている学校以外にも様々な大学、語学学校、ホームステイなど、すべての人に留学を成功していただくためのプランをご用意しております。無料個別カウンセリング、メール・電話・LINE・Skype での無料相談、各種イベントやセミナーなども随時開催中です。



QRコードアクセスで  
出願料無料！

## ◆ 試合形式 - Debate Format -

[参加人数] 6人 (1チーム3人 × 2チーム)

【話す順番と役割】

\*Constructive SpeechでのPOIへのProtected Timeはスピーチ制限時間の最初と最後の30秒間(決勝のみ1分間)

Affirmative Side	Negative Side
<p style="text-align: center;"><b>準備時間</b></p> <p style="text-align: center;">(論題発表から試合開始まで*20分 / 決勝トーナメントでは25分)</p>	
<p style="text-align: center;"><b>Constructive Speech (各5分 / 決勝のみ各7分)</b></p>	
<p>◆ 1st Affirmative Speaker</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 論題を確認し曖昧な語を定義し、何を政府側が立証するか説明</li> <li>(2) 論題を肯定する大まかな理由の提示</li> <li>(3) 試合で自分とメンバーとそれぞれ何を説明するか、アウトラインの提示</li> <li>(4) 肯定側の根拠を複数の議論に分け説明</li> </ol>	<p>◆ 1st Negative Speaker</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) PMの定義を確認し必要があれば再定義して野党側が何を否定するか説明</li> <li>(2) いかなる理由から論題を否定するか、大まかに説明</li> <li>(3) 試合で、自分とメンバーが何を説明するか、アウトラインを示します。</li> <li>(4) 政府側が出した議論に対して反論</li> <li>(5) 野党側の根拠を、複数の議論に分け説明</li> </ol>
<p>◆ 2nd Affirmative Speaker</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 否定側との立場の違いを大まかに説明</li> <li>(2) 否定側の議論に対して反論</li> <li>(3) 肯定側の新しい議論を導入</li> <li>(4) 否定側による反論に対して立て直し</li> </ol>	<p>◆ 2nd Negative Speaker</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 政府側との立場の違いを大まかに説明</li> <li>(2) 政府側の議論に対して反論</li> <li>(3) 野党側の新しい議論を導入</li> <li>(4) 肯定側による反論に対して立て直し</li> </ol>
<p>◆ Government Whip (GW)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 試合を総括する観点の導入</li> <li>(2) 否定側の議論全てに対し反論</li> <li>(3) 反論された議論を全て立て直し</li> </ol>	<p>◆ Opposition Whip (OW)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 試合を総括する観点の導入</li> <li>(2) 肯定側の議論全てに反論</li> <li>(3) 反論された議論を立て直し</li> </ol>
<p style="text-align: center;"><b>Reply Speech (各4分)</b></p>	
<p>◆ Government Reply</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 試合を総括する観点の導入</li> <li>(2) 肯定側が試合に勝った理由の説明</li> </ol>	<p>◆ Opposition Reply</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 試合を総括する観点の導入</li> <li>(2) 否定側が試合に勝った理由の説明</li> </ol>



# IELTS™

海外留学には  
アイエルツ!



詳細・  
お申し込み

<https://www.eiken.or.jp/cs/ielts/ad/2021/hpdu.html>

英検 IELTS



## IELTS(アイエルツ)とは

IELTS(International English Language Testing System、アイエルツ)は、英語圏への留学や就労、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性・公平性の高さから、イギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダなど世界140カ国で10,000以上の機関がIELTSを受け入れ基準として認定。世界の年間受験者総数は現在350万人を超え、世界をリードする試験の地位を獲得しています。

## 実力を最大限発揮できる試験形式

IELTSは、ペーパーベースの筆記試験と対面式のスピーキングテストの実施方式が主流です。自分にあったテスト形式で受験者の実力を最大限引き出して評価します。

## IELTS公式テストセンター

### 日本英語検定協会での申し込みなら

全国の主要**16都市**で実施。  
**東京、大阪、名古屋、福岡では月1回以上のチャンス!**

日本語ウェブサイトから、お申し込み、試験結果閲覧、  
期間制限なしで過去スコア確認などのサービスがご利用可能。

安心してご受験いただける、  
**英語試験に50年以上の実績**がある英検協会の運営。

特典として、IELTS対策に役立つオンライントレーニング  
**「ROAD TO IELTS」**でIELTS 2回分の模試と  
100問の練習問題が無料に! (ブリティッシュ・カウンスル提供)

NEW

コンピューターで受験する

**IELTS(CD IELTS)を  
東京で実施しています!**

受験エリアや開催日は今後、随時拡大していく予定です。

申込期間や試験日程等の詳細につきましては、CD IELTSウェブページをご覧ください。

紙と鉛筆で受験いただく  
IELTSと内容、採点基準、  
試験時間、検定料は同じ。

ライティング、リーディング、リスニングは  
コンピューターで、スピーキングは  
試験官との1対1の対面形式で実施。

実施方式の好みや  
ご都合に合わせて  
受験できてより便利に。



<https://www.eiken.or.jp/cs/cdielts/ad/2021/hpdu.html>

お問い合わせ先

公益財団法人 日本英語検定協会  
IELTS事務局 (平日9:30~17:30、祝日を除く)

IELTS公式 東京テストセンター (JP500)  
TEL: 03-3266-6852  
Email: jp500ielts@eiken.or.jp

IELTS公式 大阪テストセンター (JP512)  
TEL: 06-6455-6286  
Email: jp512ielts@eiken.or.jp

英検

公益財団法人  
日本英語検定協会

ブリティッシュ・カウンスルと公益財団法人 日本英語検定協会は、  
日本でのIELTSを共同運営しています。



BRITISH  
COUNCIL

IELTS™

Official Test Centre

IELTS is jointly owned by the British Council, IDP: IELTS Australia  
And Cambridge Assessment English.

英検

後援: 文部科学省

選ばれる理由がある。可能性は無限大。



since  
1963

単位  
認定

英語  
4技能

履歴書

海外  
留学

累計  
志願者数  
1億人  
以上

留学の夢をかなえる!

**英検® 2級から  
目指せるハワイ留学**  
アメリカを中心とする約400の  
海外教育機関が英検®を認定

就職の味方!

**全国通訳案内士試験**  
筆記試験科目外国語の英語免除  
**教員採用試験**  
試験免除制度・加点制度あり  
※詳細は各団体、自治体にご確認ください。



実用英語技能検定 試験日程はウェブサイトをご確認ください。

<https://www.eiken.or.jp/cs/pb/ad/2021/hpdu.html>

日程・会場が選べます

英検 S-CBT

後援: 文部科学省

① 通常の英検と同じ資格試験

② 対象級は  
**準1級・2級・準2級・3級**

③ 1日で**4技能**を測定

④ 複数の試験日から**選べる**

(同一級は1検定回に2回受験可 ※2021年度4月実施より)

⑤ 通常の英検と**併願可**

最新情報は英検協会ウェブサイトへ  
<https://www.eiken.or.jp/cs/s-cbt/ad/2021/hpdu.html>





## ◆ 大会ルール - Tournament Rules -

以下は大会ルールの要旨です。ルールに関して判断が必要な場合は、大会運営委員長が最終的な判断を行います。また、オンライン実施特有のルールについては、本冊子 p.8 また巻末の大会要項をご覧ください。

### [出場登録について]

- ・ 同一高校に在籍する生徒 3 名で 1 チームの登録となります。各試合ごとに、チーム内でのスピーチ役割は変更しても構いません。
- ・ 日本の高校に在籍している限り、海外経験や国籍などによる本大会への出場制限はありません。

### [対戦組み合わせについて]

- ・ 第 1 試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決められています。予選 2 試合目、3 試合目、4 試合目はパワーペアリングによって決められます。
- ・ 予選 4 試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカース・スコアの総得点で、予選の順位を決定します。勝敗数、スピーカース・スコアの総得点と同じであったチームがあり、表彰等のために順位をつける必要がある場合、まず両チームが対戦したチームの勝ち数の合計を比べ、対戦したチーム群の勝ち数が多い方を上の順位とします。この方法で差がつかなかった場合、対戦したチームのスピーカースポイントで同様の比較をします。
- ・ 上位 8 チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に 1～8 の番号を振り、以下の通りで対戦を行います。

[準々決勝 A] team 1 対 team 8      [準々決勝 B] team 2 対 team 7

[準々決勝 C] team 3 対 team 6      [準々決勝 D] team 4 対 team 5

### [試合開始前の準備時間について]

- ・ 論題は、予選では試合開始の 20 分前に発表されます。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外と相談してはいけません（顧問とも相談してはいけません）。決勝トーナメントでは、準備時間は 25 分です。
- ・ 高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、試合参加のためのオンライン機能を除き、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は許されません。携帯電話やタブレット端末をストップウォッチの代わりに用いることも禁じます。

【スピーチの順番および時間（予選試合）】      \*決勝の試合のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

準備時間： 大会 1 日目(予選)20 分 / 大会 2 日目（決勝トーナメント）25 分	
1) 1st Affirmative Speaker (5 分)	
	2) 1st Negative Speaker (5 分)
3) 2nd Affirmative Speaker (5 分)	
	4) 2nd Negative Speaker (5 分)
5) Government Whip (5 分)	
	6) Opposition Whip (5 分)
	7) Opposition Reply (4 分)
8) Government Reply (4 分)	



## [試合の流れ]

- ・予選試合、そして決勝戦を除く決勝トーナメントの試合では、最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)は各 5 分間、そして Reply speech は 4 分間となります。決勝戦のみ Constructive Speech が各 7 分になります。
- ・各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information(POI)を行うことができます（決勝戦のみ最初と最後の 1 分間以外）。POI がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒だけ話すことができます。POI を求める際には、まず必ず起立してください。
- ・Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行います。Whip Speaker が Reply speech を行うことは出来ません。
- ・あるスピーカーが、与えられた時間よりも早くスピーチを終えた場合は、時間の経過を待つことなく次のスピーカーのスピーチに移ります。あるスピーカーが 30 秒以上超過してスピーチを続けた場合、ジャッジが強制的にスピーチを終了させます。

## [スピーカーの役割]

- ・各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に最低限の反論をします。
- ・3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直しを行います。
- ・Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行います。

## [勝敗について]

- ・各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められます。Constructive Speech では、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられます。Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられます。
- ・予選第 1～3 試合ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明します。

**Constructive Speeches (out of 100)**

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
Average	75
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

**Reply Speeches (out of 50)**

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
Average	37.5
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

## ◆ 過去の大会の記録 – Results–

第1回大会 (2012年3月18日) 会場：埼玉県立伊奈学園総合高校

優勝：京都紫野高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

Round 1	This house believes that students in elementary schools and junior high schools should be required to repeat a grade if their class performance is poor.
Round 2	This house would make voting at elections compulsory.
GF	This house would ban fortune-telling businesses.

第2回大会 (2013年3月23、24日) 会場：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

優勝：宇都宮高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

Round 1	This house would allow gifted students to skip grades in schools.
Round 2	This house would ban experiments on animals.
Round 3	This house believes that using the Internet in political election campaigns will do more harm than good.
QF	This house would use quotas to increase the representation of women in the Japanese parliament.
SF	This house would penalize media companies that broadcast the use of physical abuse (such as beating or kicking someone) as a form of humor.
GF	This house believes that the US federal government should ban the private use of firearms.

第3回大会 (2014年3月21、22日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：国際基督教大学高校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高校

Round 1	This House believes that parents should have the right to access all accounts of their children's social networking sites.
Round 2	This House would apply the retirement age to politicians.
Round 3	This House believes that the Tokyo Olympics venue should include the Tohoku/Fukushima area.
QF	This House would deny those who have made poor lifestyle choices and actively harmed themselves (fatty food, alcohol, smoking) the access to the national health insurance.
SF	This House believes that research institutions that actively employ female scientists should be given more research funding by the government.
GF	This House believes that Japan should not impose any sanctions on Russia regarding the Crimea issue.

第4回大会 (2015年3月14、15日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：渋谷教育学園渋谷高校 準優勝：宇都宮高校

Round 1	This house would require all Internet users to use their real names.
Round 2	This house believes that gambling of all forms (e.g. lotteries, horse racing, or casinos) should be illegal.
Round 3	This house believes that governments should refuse to assist in rebuilding areas prone to natural disasters.
QF	This house would abolish death penalty.
SF	This house would provide welfare in the form of basic goods and services, rather than cash payments.
GF	This house believes that governments should negotiate with terrorists when their citizens are taken hostage by terrorist groups.

第5回大会 (2016年3月12、13日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：宇都宮高校 準優勝：洗足学園高校

Round 1	This house would require broadcasters to devote equal time and prominence to coverage of female sports games as male sports games.
Round 2	This house would pay all elected politicians the median wage in their electoral district.
Round 3	This house would allow prisoners to donate their organs in exchange for shortening of their sentences.



QF	This house believes that, upon request by the authority, smart phone companies should be forced to unlock their products used by criminals.
SF	This house believes that the EU should abandon its commitment to the principle of open borders between member states.
GF	This house believes that democratic countries should not attend sporting events in countries with bad human rights records.

**第 6 回大会 (2017 年 3 月 19、20 日) 会場：さいたま市立浦和高等学校**

優勝：宇都宮高校 準優勝：筑波大学付属駒場高校

Round 1	This house would ban alcohol.
Round 2	This house would abolish escalator system in schools (such as Keio, Waseda).
Round 3	This house would legalize organ transplant for profit.
QF	This house believes that US military bases should be removed from Japan.
SF	This house would abolish all laws restricting free speech.
GF	This house prefers a world without marriage.

**第 7 回大会 (2018 年 3 月 24、25 日) 会場：国際基督教大学高校 / 代々木オリンピックセンター**

優勝：渋谷教育学園渋谷高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

Round 1	This house would ban cosmetic surgery.
Round 2	This house would require doctors to report all cases of suspected domestic violence.
Round 3	This house would give right to vote to prisoners.
QF	This house would legalize euthanasia.
SF	This house would give national treasures back to its people.
GF	This house would criminalize the paying of ransom.

**第 8 回大会 (2019 年 3 月 24、25 日) 会場：代々木オリンピックセンター**

優勝：渋谷教育学園幕張高校 準優勝：浅野学園高校

Round 1	This House would ban beauty contest.
Round 2	This House would introduce conscription.
Round 3	This House would completely ban broadcasting of suicide.
Round 4	This House would ban all forms of gambling.
QF	This House would ban use of combat drones.
SF	This House would trade with oppressive regimes.
GF	This House believes that free speech should include the right to offend.

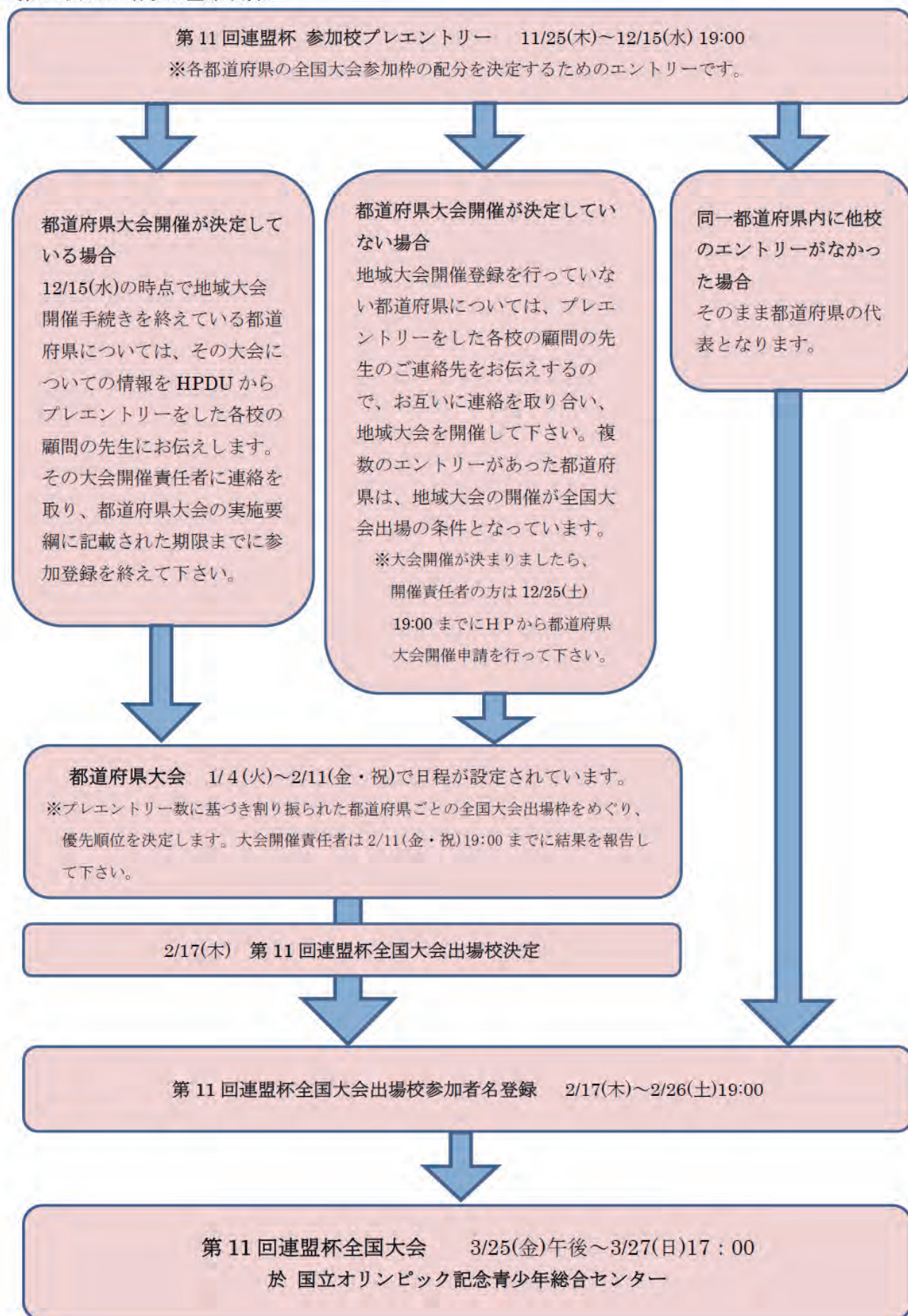
**第 9 回大会 (2020 年 3 月 22、23 日) 会場：オンライン実施**

優勝：筑波大学付属駒場高等学校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高等学校

Round 1	This House would abolish the Olympic Games.
Round 2	This House would prohibit criminals from publishing descriptions of their crimes.
Round 3	This House believes that the state should not subsidize art.
Round 4	This House believes that feminism movement should oppose affirmative action for women.
QF	This House believes that humanitarian aid does more harm than good to active conflict zones.
SF	This House would prohibit corporations from sponsoring academic research.
GF	This House would abolish private property.

## ◆ 第11回 HPDU 連盟杯(2022年3月開催予定)の登録方法

《第11回 HPDU 杯参加登録手順》





都道府県大会開催責任者の方へ

## 都道府県大会開催スケジュール

～12/15(水) 19:00 都道府県大会開催申請

都道府県大会開催登録フォーム入力。都道府県大会の募集要項をメールで HPDU に提出  
募集要項の大会名は「第 11 回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 県名(例 東京都)大会」、英語名を「HPDU of 県名(例 Tokyo) Competition 2021」として下さい。

※～12/25(土) 19:00 都道府県大会開催追申請

複数の学校のエントリーがあったにもかかわらず 12/15(水)までに都道府県大会開催の申請がなかった都道府県に関しては、プレエントリーをした各校の顧問の先生のご連絡先をお伝えするので、お互いに連絡を取り合い、地域大会を開催して下さい。

HPDU が公式認定

HPDU から各都道府県大会開催責任者へ、それぞれの全国大会参加枠を連絡  
(実際の都道府県大会参加実数がプレエントリー数を下回った場合、この枠数は減る可能性があります)

都道府県大会 1/4(火)～2/11(金・祝)

※プレエントリー数に基づき割り振られた都道府県ごとの  
全国大会出場枠をめぐり、優先順位を決定。

～2/11(金・祝) 19:00 都道府県大会結果報告フォームで、大会結果を HPDU に報告

※プレエントリーの学校数を実参加校数が下回った場合、各都道府県に割り当てられた枠数が減ることもあり得るので注意。

2/17(木) 第 11 回連盟杯全国大会出場校決定校の発表  
(各県の登録状況によっては、発表日が延期されることがあります)

### **[大会期間中の写真・動画撮影に関してのお願い]**

- ・試合の撮影は、引率者および保護者の方にのみ許可いたします。ただし、他校の生徒を撮影する場合は、必ず本人及び引率者の許可を得て下さい。
- ・HPDUの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUについての説明会や講演で使用することがあります。ご了承ください。
- ・大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行いますので、ご了承ください。



## HPDU 杯都道府県大会

### 推奨論題リスト

THW allow gifted students to skip grades in schools.  
THW stop teaching English in elementary schools.  
THBT teachers' salaries should be based on students' academic performance.  
THBT schools should ban animal dissection.  
THBT it is better for high school students to have a part-time job.  
THW introduce a fat tax on junk foods.  
THW ban tobacco.  
THW ban cosmetic surgery.  
THW ban children from becoming professional models.  
THBT watching movies at home is better than watching movies at the theater.  
THBT television does more harm than good.  
THW ban violent video games.  
THW ban combat sports.  
THBT the use of animals for public entertainment should be banned.  
THW make voting compulsory.  
THBT the prime minister of Japan should be directly elected by citizens' vote.  
THW abolish the House of Councilors.  
THW introduce mandatory retirement age for politicians.  
THW set quotas for women in the Diet.  
THW require all Internet users to use their real names.  
THW restrict advertising aimed at children.  
THBT criminals trials should be broadcasted on TV.  
THW abolish death penalty.  
THBT torture is justified for national security.  
THBT all violent juvenile offenders should be treated as adults in the criminal justice system.  
THBT governments should never pay ransom to save hostage.  
THW introduce conscription.  
THW legalize active euthanasia.  
THW legalize selling organs.  
THW ban abortion.  
THW abolish zoos.  
THW ban whaling.  
THW legalize genetically modified foods.  
THW ban animal experiments.  
THBT Japan should introduce the carbon tax.  
THBT Japan should stop using nuclear power plants.  
THBT Japan should remove import restrictions on farm products.  
THW raise the consumption tax.  
THW set a maximum limit on salaries.  
THW stop sending humans into space.  
THBT Japan should make English the second official language.

## ◆ 第10回 HPDU 新緑杯・第2回新芽杯 (2021年6月開催予定) 実施要項

2021年3月21日現在 (今後、変更もあり)

### 第10回 HPDU 新緑杯 HPDU of East Japan Spring Greenery Competition 2021 第2回 HPDU 新芽杯 HPDU Sprout Cup 2021 実施予定

主催 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟  
後援 公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟  
協賛 有限責任 あずさ監査法人  
協力 iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

#### 1 主 旨

- 新芽杯： (1) パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。  
(2) 経験者が新人ディベーターを育成する機会の提供。  
(3) 様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。  
(4) 高校教員のジャッジ養成。
- 新芽杯： (1) 総合的英語運用能力向上に有効であるパラメンタリーディベートのルールや技を学ぶ。  
(2) 大会出場経験が少ない高校生たちに対外試合の機会を与える。  
(3) 身近な問題や社会の問題について論理的で説得力のあるスピーチを即興でできる力を伸ばす。  
(4) 高校教員のジャッジ養成。

#### 2 日 時 2021年6月の日曜日を予定

#### 3 場 所 Zoom を使用して実施するため各自 Wi-Fi 環境が整っている場所をご用意してください。 また、大会当日の連絡などには LINE を使用します。参加選手および顧問の先生は予め Zoom と LINE のアカウントを取得してください。

#### 4 試合形式

- 新緑杯： ノースアメリカンスタイル (7分、7分、7分、7分、4分、4分)  
1 チーム3名、4 試合 (2 試合以降はパワーペアリング)、準備時間は 20 分とする。
- 新芽杯： ノースアメリカンスタイル (4分、4分、4分、4分、3分、3分)  
1 チーム3名、3 試合 (2 試合以降はパワーペアリング)、準備時間は 30 分とする。

#### 5 参加資格 (新緑杯、新芽杯共通)

日本に住所がある高校に在学している 1 学年から 3 学生までの生徒 (留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。学校単位で、新緑杯か新芽杯のどちらかを選択して申し込んでください。

#### 6 チーム構成の条件 (新緑杯、新芽杯共通)

- (1) チームの登録人数は 5 人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由。ただし、試合ごとにチーム内には必ず新人ディベーターが 1 人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ 10 ヶ月未満の生徒を指します。
- (2) 同一校のチームの参加とする。ただし、HPDU が出場を認めた英会話スクールなど、高等学校以外の団体は例外とする。



7 日 程	8 : 3 0 ~ 8 : 4 5	受付
	8 : 4 5 ~ 9 : 1 5	開会式
	9 : 1 5 ~ 9 : 2 5	第1試合 対戦表、論題発表
	9 : 2 5 ~ 1 0 : 4 5	準備（新緑杯 20 分間、新芽杯 30 分間）、試合
	1 1 : 1 0 ~ 1 1 : 2 0	第2試合 対戦表、論題発表
	1 1 : 2 0 ~ 1 2 : 4 0	準備（新緑杯 20 分間、新芽杯 30 分間）、試合
	1 2 : 4 0 ~ 1 3 : 1 5	昼食
	1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 2 5	第3試合 対戦表、論題発表
	1 3 : 2 5 ~ 1 4 : 4 5	準備（新緑杯 20 分間、新芽杯 30 分間）、試合
	1 5 : 1 0 ~ 1 5 : 2 0	第4試合 対戦表、論題発表
	1 5 : 2 0 ~ 1 6 : 4 0	準備（新緑杯 20 分間）、試合
	1 6 : 5 0 ~ 1 7 : 3 0	表彰・閉会式

8 参加費 1チームにつき 3,000 円（当日集金）、見学者は無料。

9 その他の注意事項

- (1) ディベーターはストップウォッチかタイマーを用意してください。
- (2) オンラインを使用する目的を除いて、書籍や電子辞書以外の電子機器（インターネット接続機能を持ったタブレットなど）を、情報検索のために準備時間と試合中に用いることはできません。
- (3) 1チームにつき1名のジャッジの派遣をよろしくお願いします。
- (4) 新人ディベーター育成の目的としたポイント制スコアシートを使用します。
- (5) 新緑杯、新芽杯共に得点ポイントの高かったチームを表彰します。新緑杯では、2試合以上行なった選手を対象に経験者ディベーター、新人ディベーターを表彰します。新芽杯には個人賞はありません。
- (6) 新芽杯では第4試合目は行いません。

10 申 込

5月に改めて募集要項をHPに掲載します。その中のフォームにアクセスして、参加申込みをお願いします。

- (1) 1チームにつき1つのフォームを送信してください。Debater は3人以上5名まで登録することができます。
- (2) 各学校から参加申込チーム数は最大で2チームまで。ただしチーム数が会場予定数を超えた場合、2チームを希望している学校から、過去の大会参加状況を考慮しチーム数の調整をする場合があります。
- (3) 参加校につき1名のジャッジ派遣の協力をよろしくお願いします。

日本高校生パラメンタリーディベート連盟西日本オープン 2022  
(HPDU of Kansai Japan Open 2022) 実施予定

- 1 趣旨：西日本の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することで、西日本でのパラメンタリーディベートの認知を上げ、活動団体の増加を図る。  
また、即興型ディベートに取り組むことで、英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を涵養できることを共有し、さらには高校生と教員同士の交流を図り、共に学び合うコミュニティの構築を図る。さらには、教員のジャッジ養成も目標とする。
- 2 日時・場所：2022年3月の日曜日または祝日、9:00～17:00を予定。於 関西圏の高等学校
- 3 日程 9:00-9:30 Registration  
9:30-9:50 Opening Ceremony  
10:00-11:20 Round1  
11:30-12:50 Round2  
12:50-13:30 Lunch  
13:30-14:50 Round3  
15:00-16:20 Round4  
16:40-17:00 Closing Ceremony
- 4 スピーチの順番および時間
  - 1) 1st Government Speech 4分
  - 2) 1st Opposition Speech 4分
  - 3) 2nd Government Speech 4分
  - 4) 2nd Opposition Speech 4分
  - 5) Government Whip Speech 4分
  - 6) Opposition Whip Speech 4分
  - 7) Opposition Reply Speech 3分
  - 8) Government Reply Speech 3分※各試合の内訳 (Preparation 20分、試合 40分、ジャッジのdecision & reflection 20分の合計 80分)
- 5 参加資格: 日本国内の高校生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。パラメンタリーディベートの活動をすでに行っている高校生、または興味を持っている高校生。ただし、即興型英語ディベートの裾野を広げ、西日本での普及を主目的としているため、HPDU 連盟杯全国大会出場者の参加は不可とする。チームの人数編成は3名とし、1チームにつき帯同ジャッジ1名を義務付ける。学校単位の申込とし、担当教員の応募とする。
- 6 参加費: 1チーム 3,000円(個人での参加は1人 1,000円)を予定。
- 7 持ち物: 昼食、ストップウォッチ、電子辞書、筆記用具、ノート等



2021年3月21日現在

第4回 HPDU中学生パラメンタリーディベート大会  
HPDU Middle High School Competition 2022 実施予定

来年度も、下記のとおり一般社団法人日本高校生パラメンタリーディベート連盟主催HPDU中学生パラメンタリーディベート大会を実施する予定です。全国の中学校のご参加をお待ちしております。また、この大会はHPDUの指導の下に高校生ディベーターが企画・運営を行います。つきましては中学生の選手募集と並行して、高校生ジャッジも募集もいたしますので、是非応募ください。募集は年末から来年1月にかけて行う予定です。

1 趣 旨：

- ① 日本の中学生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を身につける意義を伝える。
- ② 高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。また、ジャッジの役割を通して、自己のディベート力を向上させる。

2 日時・場所： 2022 年 2 月中旬 9 時から 17 時半までを予定。 於 東京都内の高校。

3 参加資格：日本に住所がある中学校の生徒（留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む）  
※学校、個人での申し込み共に可能。チームの人数は 3 ～ 5 名（1 試合に出場するのは 3 人だが、試合ごとに選手入替可能）。参加を希望するが人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意するので申込フォームに明記すること。

4 参 加 費： 1チーム 3,000円、個人申し込みの場合は 1 人1,000円

5 試合形式： 短縮型ノースアメリカン・スタイル [4 分、4 分、4 分、4 分、3 分、3 分]  
(Constructive speech が 4 分で、Reply speech が 3 分)。 試合数は、4試合(2試合目以降はパワーペアリング)を予定。参加チーム数によって変更あり。  
※ノースアメリカン・スタイルの詳細については、HPDUのホームページ→「英語ディベート教材」のチャプター→「初めての英語パラメンタリーディベート」book2をご覧ください。

6 高校生ジャッジの応募資格： 18か月以上のパラメンタリーディベート経験がある高校生で、公正なジャッジと勝敗の説明・アドバイスが可能な者。



## 模擬 G20 Summit 2021 実施について

グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的として発足した HPDU では、パラメンタリーディベートで身につけた力は必ず将来の役に立つということを、もっと高校生たちに伝えていきたいと考えています。そこで、毎年、模擬 G7 Summit（高校生による模擬 G7 サミット/日本ユニセフ協会に後援）を開催しています。「来年度も是非!」という声に応え、模擬 G20 Summit 2021 の実施を以下のように計画しております。

【内容】 その年の G サミットで取り上げられた問題について、英語または日本語で話し合い、英語で発表する。

【日時】 2021 年 8 月第 1 週の 1 日 9:00~15:00 を予定

【場所】 Zoom によるオンラインで開催予定

【主催】 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

【後援】 （公財）日本ユニセフ協会に申請を予定

【参加条件】 日本の高校に在籍する生徒であること。

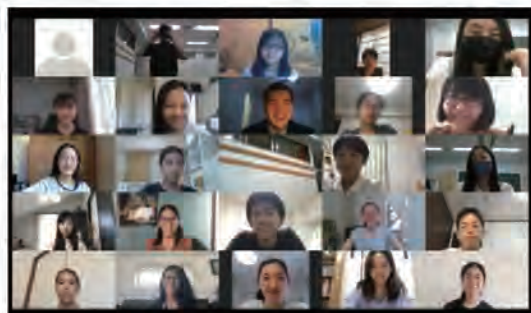
【参加費】 無料

【申し込み方法】 実施要項の完成版ができましたら、HP でお知らせいたします。

## 模擬 G7 サミット 2020 活動報告

（HPDU のサイトより）

今年の模擬 G7 サミット (Model G7 summit 2020) は、5 年間の歴史の中で初のオンライン開催となりました。海外からの参加者も含めた 44 名の中高生がインターネット上の誹謗中傷について意見を交わしました。



まず、若者の政治参画を推進する活動を行っている高校生の車世栄さんをキーノートスピーカーとして迎え、若者と政治に関してお話をさせていただきました。MG7 は若者の社会参画を目的に始められたので、改めてこの会の意義を感じることができました。次に運営委員が現状の問題についてのプレゼンテーションを行いました。その中で、インターネット上の誹謗中傷に立ち向かった芸能人として話題になっている春名風花さん（舞台俳優、声優）からのビデオメッセージを紹介させていただきました。今の法律や社会が被害者に優しくないこと、この問題の深刻さが非常によくわかりました。プレゼンの最後に、クイズを通して、どの行為が違法で、どの行為が合法かを確認しました。参加者の皆さんが熱心に聞いていただいていることが、画面越しにでもわかりました。

その後はグループディスカッションに入り、「実現可能で効果的、そして社会に受け入れられるようなアクションプランを高校生独自の視点から考える」という課題に取り組んでいただきました。今回は英語で話し合うグループが 6 つ、日本語で話し合うグループが 2 つでした。発表は日本語で話し合ったグループも含め、英語で行いました。誹謗中傷の被害を受けた際の保険や小学校からの SNS 教育、誹謗中傷か否かの判断を精神科医に託すなど、それぞれのグループが様々な角度からこの問題を深く考察していて、どのグループにも賞をあげたい気持ちになりました。質疑応答では鋭い質問が飛び交い、皆さんがとても真剣にこの問題に立ち向かっていることが改めて感じられました。

閉会式では、J7 サミット 2015 日本代表として独メルケル首相と意見交換した足立愛音さん（東京大学法学部 4 年）からアドバイスをいただきました。参加してくれた中高生の皆さん、ゲストの方々、HPDU 賛助会員の皆様、後援して下さった日本ユニセフ協会の皆様のおかげでこの会議を成功させることができました。心より感謝しております。

（文責：渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年 藤野こころ）



# ◆ 大会要項

## 第10回日本高校生パラーメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2021 (Co sponsored by HPDU and ESUJ) 実施要項

### 1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパラーメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緊急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

### 2 日 時

- 1) 全国大会予選 (43 チームを予定) 2021 年 3 月 21 日 (日) 9:30~17:45 頃
- 2) 決勝トーナメント (上位 8 チーム) 2021 年 3 月 22 日 (月) 9:30~15:30 頃

### 3 場所

Zoom を使用して実施するため各自 Wi-Fi 環境が整っている場所をご用意してください。また、大会当日の連絡などには LINE を使用します。参加選手および顧問の先生は予め Zoom と LINE のアカウントを取得してください。

### 4 内 容

World School's Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による英語ディベート大会 1 チーム 3 名、予選 4 試合(2、3、4 試合目はパワーベアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位 8 チームを決め、決勝トーナメント

### 5 参加資格

日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラーメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者。または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の出場希望校が一枚のみであった場合など)。

### 6 大会の日程 (オンラインのため変更の可能性あり)

#### 第1日目 予選

- 8:50 点呼
- 9:20 第1試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)
- 9:45 第1試合 (約 50 分)
- 10:35 ジャッジによる勝敗の説明 (30 分)
- 11:25 第2試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)
- 11:55 第2試合 (約 50 分)
- 12:45 ジャッジによる勝敗の説明 (30 分)
- 13:15 休憩 (昼食)
- 13:50 第3試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)
- 14:15 第3試合 (約 50 分)

1

#### 7) Opposition Reply [4 分]

6) Government Reply [4 分] \*決勝のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし決勝ラウンドのみ 7 分間、Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間 (決勝戦のみ 1 分間) を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information (質問、反論、コメント) を行うことができ、Point of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒話すことができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が Reply speech を行うことはできない。

#### [スピーチの役割]

- 各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に最低限の反論をする。
- 3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直しを行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資料」内「Whip を極める」を参考して下さい。
- Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行う。

### 8 評価方法

#### [勝敗について]

- 各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。
- Constructive Speech では、右の表で示すとおり、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられ、Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられる。
- 予選ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明する。

Constructive Speeches (out of 100)	
Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	75-81
Above Average	75-78
Average	75
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Reply Speeches (out of 60)	
Standard	Overall
Excellent	41 - 41.5
Good	39.5 - 40.5
Above Average	38 - 39
Average	37.5
Below Average	36 - 37
Poor	34.5 - 35.5
Extremely Poor	33.5 - 34

#### [表彰について]

- チーム成績は、まず試合の勝ち数で順位を出し、同じ勝ち数のチーム同士の、個人得点の合計を比べて出します。
- チーム成績の順位について、勝ち数が同じ、そして個人得点の総点が同じチームがあった場合、以下の様にして最終的な順位を決定します (表彰などで順位を確定させる必要がある場合) : それぞれが対戦したチームの勝ち数の合計を比べる。この場合においても、両チームに差がつかない場合、それぞれが対戦したチームの個人得点の合計を比べる。
- 個人成績は、個人得点の累計で出します。

3

- 15:05 ジャッジによる勝敗の説明 (30 分)
- 15:55 第4試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)
- 16:25 第4試合 (約 50 分)
- 17:15 ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス (20 分)
- 17:35 解散 (結果発表は SNS で行います)

### 第2日目 決勝トーナメント

- 9:00 点呼
- 9:30 準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
- 10:00 準々決勝 (約 50 分)
- 11:15 準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
- 11:40 準決勝 (約 50 分)
- 12:30 休憩 (昼食)
- 13:00 決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
- 13:30 決勝 (約 60 分)
- 15:00 結果発表

### 7 試合形式

#### [対戦組み合わせについて]

第1試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選 2 ~ 4 試合目はパワーベアリングによって決める。予選 4 試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカース・スコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位 8 チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に 1 ~ 8 の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。

- 準々決勝 A : team 1 対 team 8 準々決勝 B : team 2 対 team 7
- 準々決勝 C : team 3 対 team 6 準々決勝 D : team 4 対 team 5

#### [試合開始前の準備時間について]

論題は、予選では試合開始の 20 分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人の相談は禁止とする (顧問との相談も禁止) 。決勝トーナメントでは、準備時間は 25 分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

#### [スピーチの順番および時間]

試合の流れ 準備時間 第1日目 20 分、第2日目 25 分

- 1) 1st Affirmative Speaker [5 分]
- 2) 1st Negative Speaker [5 分]
- 3) 2nd Affirmative Speaker [5 分]
- 4) 2nd Negative Speaker [5 分]
- 5) Government Whip [5 分]
- 6) Opposition Whip [5 分]

### 9 注意事項

- ディベーターは試合中に時間を計る際はストップウォッチかタイマーを使用してください。
- ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。
- ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピュータ等)を資料の検索を目的に使用することはできません。
- ディベーターは準備時間内そして試合中に、書籍など、辞書以外の紙媒体の資料を閲覧することはできませんが、自作の資料ノートやコピーをファイルしたもの、フォーマットが書かれたプリントの使用は許されています。
- Point of Order (試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為) は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- Constructive Speech に対して Point of Information (POI) を行う場合「Point」 「Point of Information」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。5 分間の最初と最後の 30 秒間 (決勝は 7 分間なので最初と最後の 1 分間) は POI 不可。POI により発言を許可された者は、15 秒間だけ発言を許されます。Reply Speech に対しては POI 不可。
- 相手チームの顧問の承諾なしに、試合を録音、撮影、録画することは禁止です。
- HPDU の記録担当が撮影したものに關しては、後日、HPDU や ESUJ のホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDU や ESUJ についての説明会や講演で使用することがあります。ご了承ください。
- 大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行うこともあるかもしれませんが、読売新聞の記事に関しても HPDU や ESUJ の報告書などで使用することがあります。
- 急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、大会前日の 19 時までには連絡してください。代わりの選手が見つからず、2 名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりますが、決勝トーナメントには出場できません。

### 10 オンライン利用の大会実施に関する注意事項

- スマートフォンを各自一台用意してください。また、Zoom と LINE を使用しますので、参加選手と顧問はアカウントを取得してください。
- 今大会はオンラインで行うため、通常の運営と異なることが多くあります。たとえばスケジュールや進行にスムーズに行かない可能性があることもご了承ください。
- オンラインによる大会なのでネット回線がある環境が用意できることが参加条件になります。各参加者は必ず適切な環境で試合できるように事前に準備をしてください。
- 自宅に参加できるということにより気が緩むことがあるかもしれませんが、この「10 注意事項」を守り、不正は絶対に行わないようお願い致します。万が一、不正が発覚した場合は、その選手が所属している学校は HPDU が開催する大会に一年間参加できなくなります。
- 準備時間中にチーム内でメッセージ等を送ることは可能ですが、対面での試合と同様に、スピーチ中のチームメイトにチャット等を通してアドバイスをしたり文面を送ったりすることは禁止です。万が一、不正が発覚した場合は、その試合は失格となります。
- 試合中の Zoom での回線トラブルに関するルールは、以下になります。
- 1) 各試合において、各チームは、合計 10 分間以上、回線トラブルのために試合を中断させた場合、失格となる。

4

- 2) 回線が落ちたスピーカーが5分経って戻って来ない場合は他の人が代わりにスピーチを行うこと。そのスピーチについての個人スコアは無効となる。
- 3) Zoom での回線が落ちた場合に各人が行うべきこと：
- 自分の回線が落ちた場合：まずストップウォッチを止め、事前に配布するトラブル・シユアディングに従い、復旧に努める。
  - スピーチ中のチームメイトの回線が落ちた場合：その選手が5分経っても戻ってこなかった場合は、代わりのスピーカーがスピーチの続きを行う。
  - 相手チームのスピーチ中に、それに反論する次のスピーカーの回線が落ちて5分経っても戻ってこない場合：その選手のスピーチは、代わりの選手が行う。
  - ジャッジの回線が落ちた場合：スピーチ中であれば、①ストップウォッチを止める。→② ジャッジが戻ってくるまで待つ→③ストップウォッチの時間を確認して再開してもらう。
- ・オンラインでの試合を安定して実施するために、外部からの試合観戦については原則遠慮して頂いております。試合会場に入れるのは、試合をする選手、ジャッジ、試合をする学校の方1名(顧問やコーチなど)、本大会の運営(HPDU 関係者)のみです。

#### 11 各種教育奨励賞

- 1) ESUJ 賞：コロナ禍での英国 **ESU Debate Academy** 開催困難なことに鑑み、優勝チームのディベーター1名につき教育奨励金として10万円贈呈。総額30万円。
- 2) あずさ監査法人賞：参加者全員にパーマメントリーディバート練習用テキストを贈呈。
- 3) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームに音楽CDを贈呈。
- 5) キヤノン賞：優勝チームにデジタルカメラとSDカードを贈呈。
- 6) キヤノンマーケティングジャパン賞：準優勝チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈。
- 7) アルタ賞：予選大会ベスト16以上のチームに書籍を贈呈。

#### 12 最後に

今回は新型コロナウイルス対応のため、急速オンライン大会での実施することになりました。オンライン大会には予期せぬトラブルが起こることがあるので、スケジュールを初めとして色々と変更せざるをえない部分も出てくるかもしれません。皆様には色々とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



# 未来に挑む そのそばに。

前例のない変化の時代。

KPMGは監査・税務・アドバイザリーの各分野で、  
デジタルを活用した企業変革をグローバルな知見と経験でサポート。  
企業の信頼できるパートナーとして、ともに進んでいきます。

**Anticipate tomorrow. Deliver today.**



**KPMGジャパン**

有限責任 あずさ監査法人 KPMG税理士法人 KPMGコンサルティング株式会社 株式会社 KPMG FAS  
KPMGあずさサステナビリティ株式会社 KPMGヘルスケアジャパン株式会社 株式会社 KPMG Ignition Tokyo  
[home.kpmg/jp](https://home.kpmg/jp)

© 2021 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.  
The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

### 第1回大会 (2012年)

優勝: 京都紫野高校 準優勝: さいたま市立浦和高校

### 第2回大会 (2013年)

優勝: 宇都宮高校 準優勝: さいたま市立浦和高校

### 第3回大会 (2014年)

優勝: 国際基督教大学高校 準優勝: 渋谷教育学園渋谷高校

### 第4回大会 (2015年)

優勝: 渋谷教育学園渋谷高校 準優勝: 宇都宮高校

### 第5回大会 (2016年)

優勝: 宇都宮高校 準優勝: 洗足学園高校

### 第6回大会 (2017年)

優勝: 宇都宮高校 準優勝: 筑波大学付属駒場高校

### 第7回大会 (2018年)

優勝: 渋谷教育学園渋谷高校 準優勝: さいたま市立浦和高校

### 第8回大会 (2019年)

優勝: 渋谷教育学園幕張高校 準優勝: 浅野学園高校

### 第9回大会 (2020年)

優勝: 筑波大学付属駒場高等学校 準優勝: 渋谷教育学園渋谷高校

[www.hpdu.jp](http://www.hpdu.jp)